

第19号

○発行日：平成25年1月12日(土)
 ○発行：東京都合気道連盟
 〒162-0056
 東京都新宿区若松町17番18号
 (公財)合気会内
 電話：03-6457-3315
 F A X：03-6457-3317
 発行人：尾崎 响
 編集責任者：福島 清三郎

合気道

道主植芝守央

東京都合気道連盟広報



年頭にあたって



東京都合気道連盟
 会長 与謝野 馨

東京都合気道連盟所属団体、会員の皆様方におかれましては、穏やかに新春をお迎えになられましたこととお慶び申し上げます。また、理事長はじめ、役員、会員の皆様には平素より連盟の運営にあたり多大なご尽力を賜り、あらためて御礼申し上げます。

年頭の挨拶



東京都合気道連盟

理事長 尾崎 响

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては新しい年を御家族の皆様とともに、清々しいお気持ちでお迎えになられたことと

合気道は、日本国内はもとより、世界九十五カ国に及ぶほど、着実に普及発展して参りました。昨年九月には第十二回世界大会が東京で開催されました。また本部道場創建八十周年、財団設立認可七十周年の記念の祝賀会が盛大に行なわれました。都連もしっかりと足元を固めつつ将来のあり方を見極める二年になればと願っております。

どうか本年も加盟団体、道場が益々充実され、都連に対しましても更にご協力賜りますことを切にお願い申し上げます。末筆ながら皆様方のご健勝を祈念し、年頭のご挨拶と致します。

ととお慶び申し上げます。

お陰さまで東京都合気道連盟も大過なく新年を迎える事ができました。これもひとえに合気道道主植芝守央先生はじめ関係者の皆様様の御支援と、御協力があったからでございます。心から厚く御礼申し上げます。

今年一年、皆様方の御支援、御協力をいただき、色々な事業に取り組んでまいります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

皆様の御健康と御多幸を心から御祈念申し上げます。年頭の御挨拶とさせていただきます。

平成25年主要行事

東京都合気道連盟

- 平成25年2月2日(土)・3日(日)
平成24年度東京都地域社会合気道指導者研修会
主催：日本武道館・東京武道館
場所：東京武道館
時間：午前9時30分から午後4時
- 4月13日(土)
第26回評議員会
主催：東京都合気道連盟
場所：日本教育会館
時間：午後3時から午後4時
- 6月9日(日)
東京都合気道連盟錬成大会
主催：東京都合気道連盟
場所：東京武道館
- 10月14日(月)
平成25年度体育の日記念、演武発表会及び公開指導
主催：東京武道館
場所：東京武道館
時間：午前10時から午後5時
- 10月20日(日)
平成25年度東京都合気道演武大会
主催：東京都合気道連盟
場所：東京武道館
時間：正午から午後3時30分

(公財)合気会

- 1月12日(土)
全国道場・団体連絡会議
場所：本部道場
時間：午後2時30分から
- 1月12日(土)
新年賀詞交換会
場所：京王プラザホテル
時間：午後5時から
- 1月13日(日)
鏡開き式
場所：本部道場
時間：午後2時から
- 3月16・17日(土・日)
植芝盛平翁顕彰事業(田辺市)
主催：田辺市
- 4月26日(金)
贈相御命日 岡格・吉祥丸二代道主を偲ぶ会
場所：本部道場
時間：午後7時から
- 4月29日(月)
合気神社大祭
主催：合気会
場所：笠間市合気神社
時間：午前11時から
- 5月25日(土)
第51回全日本合気道演武大会
主催：合気会
場所：日本武道館
- 7月21日(日)
第35回青少年少女合気道錬成大会
主催：合気会・日本武道館
場所：日本武道館
- 7月31日(水)
第12回全国高等学校合気道演武大会
主催：全国高等学校合気道連盟
場所：東京武道館
- 11月30日(土)
第53回全国学生合気道演武大会
主催：全国学生合気道連盟
場所：日本武道館



本部道場創建八十周年、財団設立認可七十周年

合気道本部道場創建八十周年、合気会財団設立認可七十周年記念祝賀会は九月二十三日午後一時より東京新宿区の京王プラザホテルで開催された。全国各地、海外在住の師範や門下生ら総勢千九百人が参加した。

まず、古藤舞司(公財)合気会常務理事・実行委員長が開会の辞を述べた。次に公益財団法人理事長植芝守央道主が

「本日はご多用の中このように大勢の皆様にお越し頂き、合気道本部道場創建八十周年、合気会財団設立認可七十周年を皆様と共に祝いできますことを大変嬉しく思います。これからも同時に道と組織の融合を図りながら植芝盛平翁の創始した合気道の心を決しておれず、曲げずに守り、正しく次世代へ継承させて行くことをお誓い申し上げます。」と挨拶されました。

来賓挨拶として平野博文文部科



学大臣の祝辞を植芝充央(公財)合気会理事が代読した。

続いて、来賓祝辞として海部俊樹元総理大臣、松永光(財)日本武道館会長、次に元建設大臣・亀井静香衆議院議員、フォルカー・シユタンツェルドイツ連邦共和国特命全権大使、山谷えり子参議院議員より挨拶が述べられた。来賓紹介のあと、長年にわたり合気道の普及と合気会の活動にご尽力頂いた石原光義(公財)合気会専務理事に感謝状が贈呈された。

その後、多田宏(公財)合気会本部師範より挨拶があり乾杯が執り行われた。

式典の最後には実行副委員長の植芝充央(公財)合気会理事「合気道本部道場長代行より「この八十周年、七十周年を新たな出発とし、現道主を中心とし新たな歴史を積み重ねて参りたいと思います。」と閉会の辞を述べ午後三時に閉会した。

第十一回国際合気道大会を終えて

会議の参加国・地域は四十カ国

第十二回国際合気道大会は、東京代々木のオリンピック記念青少年総合センターで九月十八日から二十三日迄行われた。

会議の参加国・地域は四十カ国。会議の冒頭では植芝道主から「国際合気道連盟は開祖植芝盛平翁の創始した合気道を正しく、後世に伝える為、三十六年前に結成されました。各国の皆様が互いを尊重し、協力し合って実り多い総会にさせていただきたいと思えます。」と開会宣言が行われた。

また、ピーター・ゴールズベリ国際合気道連盟理事長より、逝去された高等評議員の田村信喜先生、菅野誠先生、国際部の部長であった米持英夫先生、東日本大震災で未だ尚、行方不明である中村勝吉師範と亡くなった方々に黙祷が捧げられた。

会議では新役員改選、新加盟国の選出、決算報告書、予算案、年会費、規約改正などについて話し合われた。

講習は十八日から二十二日の日程で行われた。二十日の午後七時から多田宏本部師範の講義があり約二百名が参加した。講習は七十三カ国(日本含む)から六百名強が参加したが、最後の道主の講習では千三百名の参加者が会場を埋め尽くした。

二十二日午後七時からはさよならパーティが国際合気道連盟の主催で開催され、新理事長のピーター・ゴールズベリ氏の挨拶、国際合気道連盟会長・植芝守央道主の挨拶、新役員紹介の後、磯山博本部師範の乾杯の音頭で和やかに会

が進められた。

二十三日は午前九時から十二時まで国際演武大会が行われ、三十二カ国の演武者が演武、大会の最後を飾った。

新役員の顔ぶれ決まる

総会期間中に役員改選がなされ、二〇二二年から二〇二六年までの新役員、新加盟国は次のように決まった。新役員は次の通り

会 長	植芝守央
理 事 長	ピーター・ゴールズベリ
副理事長	シヨーン・イアマン・マクルアイリ
事務総長	井沢 敬
事務総長補佐	オーガスト・ドラフト
財務総長	貞國 鏡
理 事	尾崎 响
理 事	フレデリック・ヘイルボロック
理 事	マキシム・デルオム
理 事	ヴィルコフ・リースマン
専 門 委 員	宮本鶴藏
専 門 委 員	横田愛明
専 門 委 員	多田 宏
高等委員	山田嘉光
高等委員	浅井勝昭
高等委員	深草基弘
高等委員	菅沼守人
高等委員	トニー・スマイバート
新加盟国	ベネズエラ エストニア
	ルーマニア スロベニア

平成二十四年度演武大会

平成二十四年度東京都合気道演武大会(主催：東京都合気道連盟、後援：東京都、(公財)東京都体育協会、(公財)東京都スポーツ文化事業団、(公財)合気会、全日本合気道連盟)は、十月二十八日正午より東京武道館で開催された。

国歌斉唱に続いて尾崎 响大会委員長が挨拶。来賓として中野英則公益財団法人東京都体育協会理事長、長達矢東京武道館館長より祝辞、また、植芝充央本部道場長代行より挨拶が述べられた。

その後、演武に移った。団体演武は規模の大きさによって三部に分けられ、第一部では赤、青、白の三つの畳にわかれ三十六団体が演武、第二部では赤、青の二つに分けられ二十四団体が、第三部は白の十一団体が演武を行った。

第四部で赤、青で道場代表者三十六名が演武。第五部で植芝充央本部道場長代行の総合演武が行われた。



植芝充央本部道場長代行



中野英則公益財団法人 東京都体育協会理事長

① 武蔵合気道クラブ

代表 中島 薫



当クラブは平成二十四年に発足しました。会員は私立武蔵高校合気道部のOBで構成されています。

私立武蔵高校合気道部は平成十二年に熊澤美裕紀先生を指導者として創設し、全国高等学校合気道演武大会には第一回から出場させていただいております。

高校を卒業した部員の大半は合気道から離れてしまいましたが、皆どこかで合気道を続けたいという気持ちを持っており、OBの受け皿として出来たクラブです。土曜日の午後に稽古を行っています。

会員は、長年稽古から遠ざかっていたOBから高校を卒業したばかりのOBまで、幅広い年代の会員が一緒になって稽古をしています。純粹に稽古をしたい者、運動不足を解消したい者、稽古後のスイーツを楽しむにしている者と会員の目的は多種多様ですが、熊澤先生の指導の下で明るく鍛錬に励んでいます。今後どうぞ宜しくお願い申し上げます。

② 正道友和会

代表 石井 基雄



世田谷区桜上水、千歳船橋で稽古を行っています。

弊会は会員数十人程度と超極小団体ですが、荒井清師範のご指導の下「楽しい合気道」をテーマに、火曜日・土曜日、日曜日の夕方に稽古をしています。指導方針としては、剣の動きを念頭に基本動作を重視し、基礎技から応用技へと荒井清師範の合気道方針を守って指導を心掛けています。既存会員はお互いが考えそして学び合う、相互向上原理を礎として切磋琢磨しております。

今後の目標としては、幼年部・少年部を新設し、健全な青少年の育成と、社会貢献に微力ながら尽力したいと考えております。微力で若輩な会ですが、皆さまの厳しいご指導ならびにご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

③ 合気道麻布道場

代表 高橋 直樹



合気道麻布道場は、一九七七年に開設した歴史ある道場です。

初代道場長の高野耕作先生が、二〇二一年秋に脳梗塞で倒れた後、二時、道場の存続の危機に遭遇しましたが、道場のメンバー全員から依頼されて、川崎雅子七段を道場長として二〇二二年二月から新生「合気道麻布道場」として活動しています。女性の練習生が多く、きめ細かい指導と、いつも和やかな雰囲気のある道場です。また、場所が六本木に近く、都心の真ん中の麻布にある道場です。従って周囲に多くの外国大使館があり、いつも外国人が稽古に参加しておりますが、植芝盛平開祖の教えを忠実に守る高野耕作初代道場長の精神を受け和合と礼節、思いやりを重んじる人間性を育む道場です。

④ 合気道雄心会

代表 中澤 孝弘



平成十六年に日野市と昭島市を中心に活動を始めました。現在合気道日野雄心会として、日野市立南平体育館で週一回日曜日に、合気道昭島雄心会として、昭島市総合スポーツセンターで週二回火曜日と金曜日に夫々稽古を致しております。楽しく、無理強いをせず、怪我をしない、怪我をさせないをモットーに又我流にならない様に他の道場との交流を持ち、合同稽古や講習会にも積極的に参加する様に心掛け、姿勢、呼吸、重心等に意識を置いた指導理念の基に毎回稽古を致しております。

まだまだ小さな組織ではありますが、地域社会の一員として期待される道場づくりを目指して精進して行きたいと考えております。合気道の益々の発展と、皆様方の御活躍のお手伝い出来ればと考えております。どうぞ宜しくお願い致します。

⑤ 合気道初心会

会長 有末 隆雄



合気道初心会は二〇〇八年、東洋大合気道部OBと故西尾昭二師範の門下生により創立されました。

西尾先生は、常々開祖は稽古中、「この手に剣を持てば剣に、杖を持てば杖に合気は再現できる」と言われたと、話して下さいました。

私たちはその教えに従い、剣、杖、徒手と様々な方向から、合気道の真髄を学ぶことを目標としています。

活動拠点は、東京都北区滝野川体育館。平日木曜日午後という難しい時間帯ですが、国内外から、年間多くのビジターが参加します。

会長を中心に、メンバーも老若男女多種多彩。自由闊達、開放的な雰囲気稽古が持ち味です。

興味のある方の参加をいつでもお待ちしております。

ホームページは

http://aikidoshos
hinkai.web.fc2.com/

⑥ 中村南合気会

代表 黒沢 精司



練馬区立「中村南スポーツ交流センター」で週一回、木曜日に稽古しております。

会員は学生から社会人まで、幅広い年齢構成となっております。合気道による健康増進がその目的です。

ストレス社会、そして少子高齢化の現代です。地域での健康管理、疾病等の一次予防こそが重要な生活課題であると思えます。

そのような視点から、生涯スポーツ、および生涯発達の主体者として、私たちの存在理由があると考えております。

稽古は基本技を中心に、どこに目付をおくか。

・相手との間合い。
・相手の力をどのように外し、どう崩すか。

・どのように入身するか。
・身体の柔軟性維持と流れ。

・身勢と中心軸。
などを研究しております。

どうぞよろしくお願ひ致します。

⑦ 星の庭子ども合気道

代表 桜井真樹子



星の庭子ども合気道は、品川区のエトワール幼稚園で合気道を始め、小学校に入っても合気道を続けたいと稽古を続けている小学生たちの小さなグループです。

同じ幼稚園、同じ小学校に通っている彼らは、反抗する態度、減らず口の叩き方、稽古の途中でふざけるパターンもほぼ同じ。遠くから見れば、誰が誰ということなく、ただマットで戯れる小ザルの集団です。

しかし、合気道の裾野は広く、さまざまなライフスタイルのある時間を合気道につぎ込んで、それぞれの人生が豊かであるようにと、稽古に励んでいらつしやる多くの方々に会ってほしいと思っております。その中で、合気道の続け方を見つけてくれることを願っている一指導者として、いつか小ザルどもが、みなさまにお目にかかれる日がくることを願っております。

どうか、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

⑧ 凌雲志

会長 坂本 俊也



今回、東京都合気道連盟に加盟させていただきましたことになりました。「凌雲志」と申します。

当会は発足してから約十年たち、会の名前のおり、稽古の時のみならず、生活においても常に平常心たるべく精進を心がけております。稽古は基本技を丁寧に行うことを中心として、力に頼ることなく相手に合わせつつ崩す技を工夫しております。

ご縁がございましたら、一度お寄りください。

⑨ 稲門合気倶楽部

会長 谷中健太郎



当倶楽部は、昭和三十五年に発足した早稲田大学合気道会のOB会として、昭和三十九年に会員相互の親睦を図ることを目的に設立されました。

現在の会員は四百四十名おり、現役学生支援、本部道場への恩返し、OB交流の三つの柱をベースに活動しております。

稽古は、多田宏師範および坪井威樹師範の指導の下、早稲田大学、西早稲田中学校および新宿コズミックセンター等を利用し、在京の二十数名で行っています。六月と十二月には現役学生との交換稽古も行ない後輩との交流も図っています。

合気道を通じて得た様々な恩恵に少しでも恩返しし、合気道の発展のお手伝いができますよう今後も精進して参ります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

⑩ 合気道高城道場渋谷会

代表 高城 寛子



合気道高城道場は平成十六年十一月に、渋谷会はその二年後に発足しました。私は三十五年程前に合気道小林道場入門し、同門の夫との結婚。近くの合気道五十嵐道場に移り、五十嵐和男師範のご理解のもと、三人の子供を妊娠。出産、育児とともに仕事を続けながら合気道の稽古も継続することができました。

この間家事と育児に援助してくれた夫の母の病氣により、二十三年勤めた渋谷区役所を退職し、道場を開きました。その母が亡くなった直後に、今度は夫がくも膜下出血で倒れました。その状況を見て、小林保雄師範が渋谷会を小林道場の傘下に置き、高城道場が落ち着くまでサポートして下さいました。

そして、道場開設四年目の四十九才の時に六段に推薦していただきました。

お二人の先生方には、心より感謝申し上げます。お蔭様で、今は渋谷会も高城道場の支部道場として、順調に稽古を継続しています。

⑪ 武蔵小山道場

代表 三井 敏郎



この度、東京都合気道連盟に加盟させて頂く事になりました武蔵小山道場です。当道場は私が三十五年間お世話になりました日黒道場から独立して、平成十九年十一月一日にスタート致しました。

東急目黒線 武蔵小山駅より十分ほどの向原住区センターにて、毎週金曜日、午後六時三十分〜九時三十分の間稽古しています。又、自主練習で週五日別の道場を借りて稽古している熱心な人もいます。さらに、合気道を理解しようと居合道、杖道等、他武道を並行して稽古している人も多くいます。

稽古の方針としては「痛くも痒くもなく倒す」です。これは長い間導いて頂いた目黒道場の阿部 修先生が稽古中にふと仰せられた言葉です。それ以来、私の座右の銘とさせて頂いています。

稽古の内容としては、植芝盛平先生に遺して頂いた型の中に有る「理」を一つでも理解する事が出来る様にと毎回もがき苦しんでおります。今後共御指導、御鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

⑫ 合気道あゆみの会

代表 蘭田 由雄



当会は、平成十五年十一月に設立し、葛飾区総合スポーツセンター体育館第一武道場で毎週土曜日に稽古を始め、十六年（公財）合気会本部道場に登録。現在は毎週木・土曜日の午後三時半〜六時で稽古しています。

以前、先生方に相手を倒そう倒そうとしないで道場にいるときぐらい姿勢を正して稽古しなさいと言われていました。中心線を大切に。

姿勢を良くして出来ることをやる。

立つ・座る・転ぶ・起きる……

前に斜めにあゆみ一教入身転換、

後にあゆみ体捌き。技の心は、

きれいに美しくあゆみの姿。

心はやさしくあゆみのころ。

老若男女を問わず誰にも出来る合気道の不思議さ、その一端に触れたく、会員の方々と共に追求したいと考えています。

今後とも宜しくお願い申し上げます。